

大泉

子供の育ち

石井 友行

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年はいろいろな場面で子供たちの成長を感じました。いくつかを紹介いたします。

エピソード1

毎週月曜日の全校朝会。八時三十分には全員が集まり、一人のおしゃべりもなしで朝会を始めることができます。

エピソード2

九月の道徳授業地区公開講座でのこと。この日、元フジテレビのアナウンサーの小林大輔さんにおいていただき読み聞かせしていただきました。事後、小林さんがご自身のホームページにこんなことを書いてくださっています。

「体育館の会場に、短時間のうちに大勢が素早く入れ替わったり、防災頭巾を座布団がわりに床に敷いてマナーよく聞いてくれるこの学校の生徒たちの団体行動の確実さと、担任の若い先生方の統率力の見事さには、私も舌を巻いた。それについて、入退場の際の子供たちの表情はニコニコしてまことに伸びやか。」
何ともうれしいお言葉です。

エピソード3

運動会での出来事です。各学年とも競技、演技ともにすばらしかったのですが特に印象的だったのは閉会式です。応援団長が「僕についてきてくれてありがとう。みんなの協力のおかげで勝つことができました。」と涙を流しながら語りました。心を一つにするというのはこういうことなのだと感じました。

エピソード4

学芸会。感動をいっぱいもらった学芸会でした。特に子供たちの成長を感じたのは、自分自身で場にふさわしい行動を選択し、実行できるということです。進行係の児童が「次はプログラムの○番、○年生による・・・」とアナウンスを始めると見事におしゃべりがなくなる。「静かにしてください」というアナウンスは全く不要でした。また、学年の劇の中で歌が出てくると手拍子が自然発生的に出て会場が一体感に包まれるなど、温かな雰囲気にも包まれた学芸会になりました。相手を思いやること、自分を大切にしてみらえるということ、自分を大切にしてください。このような姿が出てきたのもご家庭での協力があるからです。ありがとうございます。

今年も大泉小学校はいじめや暴力のない、子供たちがのびのびと学習や生活のできる学校づくりを目指していきます。

<発行>
練馬区立大泉小学校

<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



1月の行事予定

- 7日(火) 冬季休業日終
- 8日(水) 31日(金) あいさつ月間
- 8日(水) 冬休み後朝会
- 特別時程
- 4時間授業
- 9日(木) 給食始め
- 安全指導・安全点検
- 委員会活動
- 持久走記録会
- 校内書きぞめ展
- 成人の日
- 13日(月) 身体計測(56)
- 14日(火) 身体計測(2)
- 15日(水) 身体計測(15)
- 16日(木) 身体計測(4)
- 17日(金) 身体計測(4)
- 18日(土) 23日(木) 練馬区連合図工展
- 20日(月) 身体計測(3)
- 22日(水) 4時間授業
- ※5年1組のみ研究授業のため5時間授業
- 23日(木) クラブ活動
- 25日(土) 26日(日) 連合書きぞめ展
- 29日(水) 学校評議委員会
- 30日(木) クラブ活動
- 31日(金) 4時間授業

※火災を想定した予告なしの避難訓練を実施します。



《1月の生活目標》 「いとはづかいに 気をつけましょう」

新年を迎え、新たな気持ちで日々をお過ごしのことと思います。今年も子供たちが安心して充実した学校生活を送れるような環境を整備していきます。環境のひとつとして、言語環境があります。学校は学習面だけでなく、集団生活を通して、人と人のかかわりを学ぶ場でもあります。人のかかわりをもつ上で欠かせないのが言葉です。言葉はその表現の仕方によって人を勇気づけたり、幸せな気持ちにしてくれたりします。その一方で、人を悲しませたり、傷つけてしまったりすることもあります。

学校では、言われた時にホツと気持ちがあたたくくなる言葉を「ホカホカ言葉」、反対に言われた時にいやな気持ちになる言葉を「イガイガ言葉」として、日常的に意識づけるよう指導しています。大泉小のみんなが「ホカホカ言葉」をたくさん使うことで、誰もが気持ちよく過ごせる環境ができます。学校でも家庭でも「ホカホカ言葉」をたくさん使えよう、ご協力をお願いいたします。(佐々木 さやか)

◎『心のふれあい相談室』について

ふれあい相談員は、浅沼玲子相談員です。
・時間は：火曜日・水曜日
金曜日：10時～15時
：10時～16時
・場所は：和室 で行います。

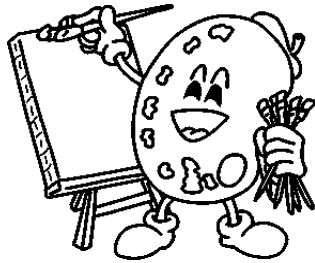
練馬区連合図工展

一月十八日(土)～二十三日(木)の期間、中村橋にある練馬区立美術館2階展示室において、練馬区小学校連合図工展が開催されます。「しなやかさと豊かさの造形へ」をテーマに区内全小学校の児童作品が、広い展示会場にところせましと展示されます。会場は児童が心をこめて一生懸命取り組んだ絵や立体、共同作品でみちあふれ児童のエネルギーでいっぱいです。

本校からも図画工作科の学習で制作した一年生から六年生の児童の絵や立体作品を出品予定です。

図画工作科では、「感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わい、造形的な能力を培う」を目標に学習をしています。子どもたちならではの感性で表現された豊かな色や形・イメージの世界を、ぜひこの機会に会場へ足を運んでいただき鑑賞いただければと思います。

また、この展覧会は児童及び保護者の皆様のためだけの展覧会ではなく、練馬区全小学校教諭の研修・研究の場ともなっています。美術館で各校の力作もご鑑賞頂き「豊かな子どもの世界」をご堪能頂ければと思います。



(和久井智洋)

書きぞめ展

「書きぞめ」は、日本の伝統的な行事の一つです。正月二日に心新たにして書いた懐かしい思い出です。

本校では、一月十一日(土)から一月二十四日(金)まで校内書きぞめ展が開かれます。学校で書いた作品が、各教室の廊下に展示されますのでご来校の折などにぜひご鑑賞ください。

一、二年生は硬筆(鉛筆)、三年生以上は毛筆による書写です。

三年生以上の教材は、書写教科書の巻末に載っています。三年生は「光るにじ」、四年生は「世界の子」、五年生は「強い信念」、六年生は「創造する心」です。

目標の「文字を、正しく整えて書く」は全学年共通のもので、各学年のめあてはそれぞれありますが、姿勢、鉛筆や筆の持ち方も指導していきます。

各自のめあてを心に刻み、書きぞめに臨みます。学校では特に「とめ、はらい、曲り、おれ」等の基本点画の筆使いや行、文字の中心、字配りなどに気をつけて書くことを指導していきます。

書きぞめ展をご覧になって、お子さんへの励ましの言葉をかけていただけましたら幸いです。

また練馬区では、一月二十五日(土)から二十六日(日)に、練馬区立美術館で連合書きぞめ展が開催されます。本校からも代表児童の作品が出品されます。ぜひお出掛けください。

(比護 明日香)

五年生の様子

元氣とやる気は誰にも負けない五年生の子供達です。今年のテーマは「一生懸命。」行事に学習に取り組んでいます。

九月の運動会には「泉つ子魂」を掲げ、これからの大泉小を作り上げていく宣言をしました。

武石移動教室では、自分の役割を責任もつてやり遂げることで一つのピースであることを感じ、誰一人欠けてはいけないことを学びました。

そして連合音楽会の出演。心を合わせて一つになることを目標に、大泉小の代表として演奏しました。

終わるとすぐに学芸会。小学校生活最後ということもあり、心を動かす劇を創ろうと取り組みました。照明や音響などの裏方もすべて子供達の役割にしました。機械の操作を覚えたり、放課後音楽室で自主的に練習をしたり、効果的な演出に向けてがんばり、みんなで多方面から劇を創り上げることができました。

行事に追われる忙しい毎日でしたが、その一つ一つに学びの意識をもち、自分だけでなくみんなと一緒に高まろうとする姿に、成長を感じられます。

今、目指しているのは六年生の姿です。しかしまだまだ背中が遠く、なかなか近づくことができません。近付くためにどうすればいいのか、これが残りわずかな時間で答えを見つけ出さなければならぬ五年生の課題です。

今後は五年生がリーダーになるような行事が増え、卒業関連行事もあり最高学年の意識も高まります。自ら動き、そして動かす。学年のまとめとして指導していきたいと思っています。

(波江野 礼子)

三年生の様子

三年生は、十二月に初めての社会科見学へ行きました。

ベジふるセンターでは市場の様子、練馬区役所では展望台からの周辺地域の様子を見学しました。石神井公園ふるさと文化館では昔の人々の暮らしについて古民家等に実際に足を踏み入れ、昔の生活用品の使用法などを学習することができました。一人一人よく話を聞き、メモを取ったり意欲的に質問したりすることができました。

また総合的な学習の時間では、地域特色を生かした学習として、小泉牧場での活動を行っています。

今年度は春から牧場に入れていただき、小泉さんのお話を伺ったり、牛の世話をさせていただいたりすることができました。はじめのうちはおそろのおそろ牛に触れていた子供たちも、ブラッシングやえさやりをしていくうちに慣れてきて、牧場の学習を楽しみにするようになりました。今後は学習したことをテーマ別にまとめ、二月に発表を行う予定です。牛に対しての興味関心が深まりました。学んだことを他の人に分かりやすく発表する力を身につけられるよう指導しています。

学芸会ではサーカスのセリフや振り付け・ショーの練習を自主的に行いました。皆で協力して一つの大きな劇を作り上げたという満足感と達成感は大きく、心身共に四年への道のりを着実に進んでいる様子が窺えます。

今は寒さをものともせず、毎日の五分マラソンに全力で取り組んでいます。いろいろな学習や行事を経験して、達成感を味わうことができました。

(鈴木博子)